

# 第26回全国老人保健施設大会

介護老人保健施設 平成の森

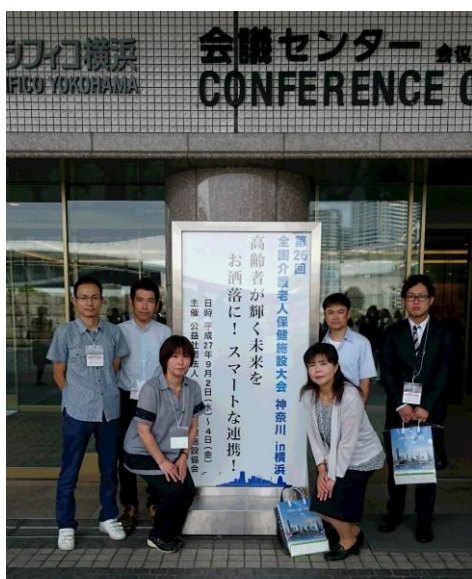
リハビリテーション科 理学療法士 川畑 聡

去る9月3日・4日の2日間、神奈川県のパシフィコ横浜で開催された第26回全国介護老人保健施設大会に参加しました。当施設からは「業務改善からの学び」（細谷剛）、「利用者、家族との日帰り旅行からの学び」（木村順一）、「太極拳を利用したバランス向上の取り組み」（川畑聡）の三演題を発表。それぞれの発表について、会場から熱心に質問や意見をいただきましたが、中でも日帰りバスツアーの発表においては、「うちの施設でも実施したいが、幹部職員の理解が得られない。どうやって説得したのか?」、「施設の費用負担は如何ほどか?」など、かなり具体的な内容にまで踏み込んだの質疑応答となりました。

今回の大会は、日本で一番人口の多い都市である横浜市で開催され、参加者は約7000名、講演者に小泉進次郎衆議院議員、作家の林真理子さんがいらっしゃるなど盛大なものとなりました。演題発表も数多く、興味があるものが重なり、どの会場に行くか迷う程でした。

大会へ参加する中で、どの施設でも、当施設同様の問題や悩みを抱えているということを確認しました。認知症への対応、リスクマネジメント、在宅復帰への取り組み、法改正など介護保険をめぐる課題は数限りありません。しかし、一つの施設だけでは解決できない問題を提議し、解決の方法を共有していくことが、大会本来の役割なのかもしれません。互いの施設での経験を共有し、より良い介護を追求していくことが、老健施設の将来にとって大切なことなのではないかと感じました。

今後は、地域や施設と連携し、学んだ事を利用者様・ご家族様へのQOLとして還元していければと考えています。



## 新入職員の紹介

8月1日より支援相談員として入職いたしました。



今まで川島の街にはあまり縁がありませんでしたが、通勤で通うようになり、とてもどかな田園風景に日々癒されております。これから稲穂が実る季節になり、さらに綺麗な風景

が見られる事を楽しみにしています。施設からの眺めも良く、入所者の皆さんも全室個室ユニットケアという落ち着いた環境で穏やかな日々を過ごされています。皆様安心して平成の森での生活を送れるようサポートさせていただきたいと思っております。

介護老人保健施設の支援相談員としての勤務経験を活かし、頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。(介護老人保健施設 平成の森 黒田章敏)



## インフルエンザ予防接種

今年も平成の森・川島病院、川島クリニックでは、接種時の年齢が65歳以上の方を対象とした公費での接種が可能です。

高齢者がインフルエンザに罹患した場合の誤嚥性肺炎併発や死亡を防止するための制度です。また、川島町以外の県内にお住まいの方の公費での接種も可能となっています。一般の方の予防接種についても、接種可能です。詳細については、各病院にお問い合わせください。



## 平成の森・川島病院

# 訪問リハビリテーション開設

平成27年7月1日より「平成の森・川島病院 訪問リハビリテーション」を開設致しました。訪問リハビリテーションとは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、ご自宅において医師の指示に基づき、適切なリハビリテーションを行うサービスです。

### <訪問リハビリテーションの内容>

- 全身状態の確認
- 関節の動きや筋力の維持・改善
- 移動手段(歩行や車椅子など)の検討や練習
- 入浴やトイレ、更衣など身の周りの動作練習
- 家事動作練習
- 散歩や趣味などの余暇活動の検討
- 言葉によるコミュニケーションが難しい方への発声・発音練習、話し方の工夫・指導など
- 食事が飲み込みにくい、むせる方などへの嚥下練習、口腔ケアの実施とケア方法の助言・指導、食事環境の設定
- ご自宅で行える運動や動作指導
- 福祉用具(車椅子、杖、自助具など)や住宅改修(手すり、段差解消など)についての相談・検討
- ご家族や介護者への介護指導・助言

### <対象となる方>

在宅にて生活をされており、要支援または要介護認定を受けている方

### <実施地域>

川島町、吉見町、川越市、桶川市  
※上記地域以外の方でもご希望の方はご相談下さい。

### <ご利用方法>

まずは、担当の介護支援専門員(ケアマネージャー)もしくは当事業所へご相談下さい。  
訪問リハビリテーションを受ける際には、主治医からの情報提供や指示が必要となります。

### <お問い合わせ>

平成の森・川島病院 訪問リハビリテーション  
ご質問、ご相談は下記の連絡先までご連絡下さい。  
電話：049-297-2811



## 新しい浴槽が完成しました

回復期病棟の浴室に、新しく個浴の設備が完成しました。現在は、週2回の入浴リハビリの時間で使用しています。新しい個浴は、一般家庭のお風呂と似ていますが、縦や横に手すりがたくさん付いていて、浴槽の脇には座れるようなスペースがあります。

入浴リハビリでは、座ったまま浴槽に入ったりするなど入浴方法を工夫したり、必要な手摺りの位置を検討したりと、家で安全に入浴するための練習をしています。新しい個浴で練習することで、患者様一人ひとりに合わせた環境に設定出来るようになり、退院後の入浴方法がイメージしやすくなりました。



今後も、病棟のスタッフと連携しながら、より安全な入浴を目指して個浴を活用していきたいと思っております。

(リハビリテーション科 松本奈緒子)